

## 創造都市実現に向けた支援の考え方について

### 1. 目的

地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動を行う市民活動団体、企業、アーティスト、クリエイターを支援することにより、その活動が新しい価値や文化、産業の創出につながり、市民の暮らしの質や豊かさを高め、環境、教育、福祉などの問題解決を図っていく『創造都市・浜松』の実現を目指す

### 2. 背景

創造都市の実現に向け、市民活動団体や企業等が企画・実施する創造的な取り組みを活発化するため、平成 24 年度から「みんなのはままつ創造プロジェクト」を実施。7 年間で 222 事業を採択し、市の抱える様々な課題解決に向けた創造的な市民活動が実施された。

一方、本事業を活用した市民活動団体からは、事業を持続的に実施するための課題（自立化、広報、人材不足等）が浮き彫りとなり、上記課題を解決する客観的、専門的な伴走型支援が求められている。

平成 30 年 4 月、創造的・文化的な活動の中間支援組織として、浜松市文化振興財団内に、浜松版アーツカウンシルとして「浜松アーツ&クリエイション」を設置。

### 3. 事業内容

- (1) 創造的な活動を行う市民活動団体、アーティスト・クリエイター、企業への活動助成
- (2) 各活動、団体の自立化、広報、人材不足、持続性（資金）等の課題に対する支援

# 創造 創造都市・浜松

支援メニューの検討

Stage02 その活動が新しい価値や文化、産業等の創出につながり、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく。



### 【課題】

- ・支援対象が、市民活動団体に限定されている。
- ・自立化、広報、人材不足、持続性(資金)等の活動の課題に対する専門的な支援不足。
- ・単独事業のため、成果の地域への波及、他活動との連携に十分につながっていない。
- ・客観的、専門的な視点からの伴走型支援が十分でない。

### 【ヒアリング団体の声】

- ※補助制度がさらによくなる方法について質問した
- ・事業資金の調達方法や組織の運営などに関するより専門的なアドバイス
- ・広報活動についてのより専門的なアドバイス
- ・様々な団体や企業等と交流したり連携したりする機会の提供

Stage01 地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われる。



現状:みんなのはままつ創造プロジェクト(H24~H30 7年間)

### 【成果】

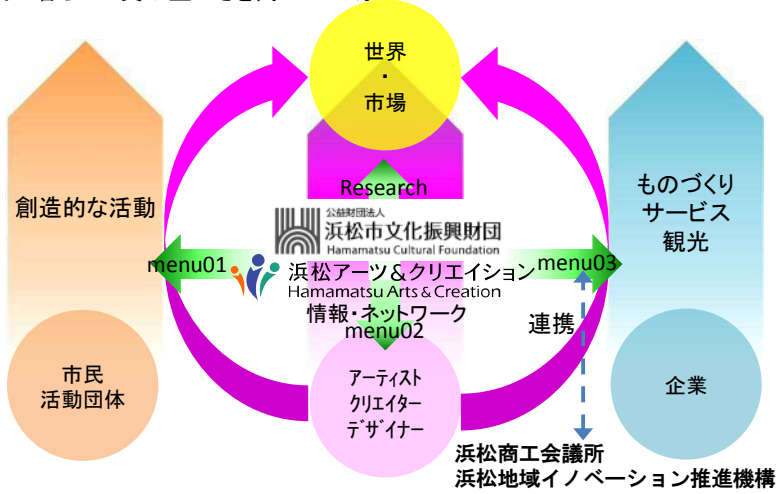
- ・市の抱える様々な課題解決に向け、市民活動による創造的な取り組みが活性化された。
- ・創造都市・浜松実現に向けた市民団体目線から捉えた課題がデータとして蓄積された。
- ・活動のスタートアップ期のリスクが軽減され、また、事業終了後の持続的な活動につながった団体がある。

提案事業 440 ⇒採択事業 222 (スタートアップ 173、ステップアップ 49)  
※H24~H26はスタートアップのみ

# 創造 創造都市・浜松

支援メニューの検討

Stage02 その活動が新しい価値や文化、産業等の創出につながり、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく。



Stage01 地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われる。  
みんなのはままつ創造プロジェクト(H24~H30 7年間)